

## 術前の禁煙・禁酒についてお願い ～より安全な手術と早期回復のために～



平素より市立長浜病院の診療にご支援を賜り、また多くの患者さんをご紹介いただき、誠にありがとうございます。当院では、患者さんがより安全に手術を受け、早期回復できるよう「ERAS®（術後早期回復プログラム）」に基づいた周術期医療に取り組んでいます。

術後の早期回復を目指すうえで重要となるのが、術前の「禁煙」および「禁酒」です。喫煙および飲酒は、創傷治癒の遅延、合併症のリスク増加など、周術期の経過にさまざまな影響を及ぼすことが知られています。手術の1か月前から禁煙・禁酒に取り組んでいただくことで、手術の安全性が高まるだけでなく速やかに治療へと進むことができ、術後の身体の回復も早まります。

当院におきましても、外来受診時より患者さんに禁煙・禁酒の重要性をお伝えしていますが、禁煙・禁酒は一定期間継続することで効果が期待できます。禁煙・禁酒ができていない場合は、手術を延期することもありますので、貴院からご紹介いただく際にも患者さんにご説明いただければ幸いです。かかりつけの先生からのお声かけは、患者さんが治療に向けて前向きに準備を進める大きな支えとなると考えています。

患者さんが安心して手術に臨み、より早く回復できるよう、今後も地域の医療機関の先生方との連携を大切にしていきたいと思います。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 患者総合支援センター 新スタッフのご紹介

看護師 瀬古 裕子



はじめまして。入社してからほとんど病棟勤務でしたが、4月より入院支援グループに配属になりました。地域からのバトンを入院部署へつなぐ役割をはじめ、多職種への情報共有を中心に、患者さんに安心して入院生活や治療・検査を受けていただけるよう丁寧な対応を心がけていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

## 循環器市民公開講座のご案内

人生100年時代 心臓を健やかに保つ秘訣  
～今、私たちにできること～

日時：6月28日（日）10時00分～11時30分  
会場：市立長浜病院 本館2階 講堂  
講師：① 循環器内科 小林勇介 医師  
② 石橋孝 理学療法士  
③ 古山英孝 薬剤師  
④ 神崎真由香 管理栄養士  
問合せ：市立長浜病院 地域医療連携室  
☎ 0749-68-2346（直通）

※ 詳細は別紙チラシをご参照ください。



## 『全教一斉ひのきしんデー』

4月29日に天理教湖北支部のみなさんに除草作業を行っていただきました。小さなお子さんからご高齢の方まで232の方が駐車場花壇とリハビリ庭園を美しくしてくださいました。みなさんの尊い行いに職員一同心から感謝しています。ありがとうございました。



いつも あなたの すぐそばに

## 市立長浜病院 地域医療連携だより

令和8年6月1日号

No.255

理念  
地域住民の健康を守るため、  
「人中心の医療」を発展させ、  
地域完結型の医療を推進します。

市立長浜病院  
患者総合支援センター 地域医療連携室



救急告示病院 日本医療機能評価機構認定病院 地域がん診療連携拠点病院  
がんゲノム医療連携病院 厚生労働省臨床研修指定病院 地域医療支援病院



謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。6月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けしますので、ご査収ください。 敬白

## リウマチ膠原病・血液内科のご紹介

責任部長 新川 雄高

湖東・湖北地域の諸先生方におかれましては、平素より多くの患者さんをご紹介いただき、心よりお礼申し上げます。市立長浜病院リウマチ膠原病・血液内科では、常勤医師3名（専攻医1名含む）と嘱託医2名が主に入院診療を担い、外来は京都大学医学部附属病院からの非常勤医師4名の応援も受け、毎日2診体制で診療しております。近年、診療体制は充実しており、地域の先生方からのご紹介に速やかに対応できる体制づくりに努めております。



当科では、関節リウマチをはじめ、リウマチ性多発筋痛症、巨細胞性動脈炎、ANCA関連血管炎、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎などを幅広く診療しております。特に関節リウマチでは、早期診断・早期治療により関節破壊の進行を抑え、難治化を防ぐことが重要です。発症早期には典型的な関節腫脹や血液検査異常を認めない場合もあります。また、多関節痛を訴える患者さんの中には、乾癬性関節炎などの脊椎関節炎や、血管炎を含む膠原病が隠れていることもあります。関節痛、関節腫脹、朝のこわばりなどがございましたら、診断確定前でもいつでもご紹介ください。

また、高齢化に伴い、リウマチ性多発筋痛症、巨細胞性動脈炎、ANCA関連血管炎の患者さんも増加しています。中でも巨細胞性動脈炎は失明のリスクを伴う緊急性の高い疾患であり、側頭部痛、顎跛行、視覚症状を伴う不明熱や炎症反応高値では、早期診断・早期治療が重要です。不明熱の原因として膠原病が一定割合を占めることも念頭に、少しでも疑われる症例がございましたら、ぜひご相談ください。

地域の先生方に信頼してご紹介いただける診療科であり続けるため、今後も日々研鑽を重ねてまいります。どうぞお気軽にご相談、ご紹介のほどよろしくお願い申し上げます。

## 副医長 マクラケン 佳世



初期研修より市立長浜病院で診療に従事してまいりました。琵琶湖や豊かな自然、そして患者さんとの出会いに日々癒やされています。

膠原病は周囲からわかりにくい疾患で精神的なつらさを抱える方も少なくありません。そうした悩みにも耳と心を向け、「よくなった」のお声を励みに研鑽しています。今後ともよろしくお願いいたします。

## 専攻医 福森 強介



昨年度から勤務しております福森強介と申します。市立長浜病院にはご縁あり、初期研修からお世話になっております。患者さんにとって耳慣れない病名や病態、治療薬などが多いと存じますが、限られた時間の中でできるだけ丁寧にわかりやすく説明するように心がけております。様々な症例に対応できるように努力していく所存ですので、先生方には今後ともお気軽にご紹介いただければ幸いです。

## 臨床研修医のご紹介

### 研修医 井関 颯太

滋賀医科大学を卒業し、このたび市立長浜病院で初期研修医として勤務いたします。長浜市出身として地域の医療に貢献できることを大変嬉しく思っております。患者さん一人ひとりに寄り添い、信頼される医師を目指して日々研鑽に努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



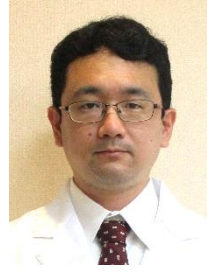
### 研修医 陣林 美紀

4月から市立長浜病院で初期臨床研修をさせていただいております陣林美紀と申します。福岡出身で福岡大学を卒業しました。第二の土地として自然豊かな長浜で研修できることをとても嬉しく感じております。地域の皆様に信頼される医療を提供できるよう日々研鑽を積んでまいります。先生方にはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



### 研修医 棚田 史彦

本年度初期研修医として採用されました棚田史彦と申します。出身大学は香川大学ですが、実家は滋賀県大津市です。長浜市には何度か遊びに来たことはありますが、住むのは初めてです。祖父が虎姫出身ということもあり、当地にはご縁を感じております。まだまだ未熟ですが、一人前の医師となり、地域の患者さんに貢献できるよう頑張っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



### 研修医 藤原 稜太

このたび臨床研修医として市立長浜病院に入職させていただきました藤原稜太です。初めて訪れるこの街での新しい生活に期待を感じるとともに、地域に根ざした医療に携われることを大変嬉しく思っております。まだまだ未熟者ではありますが、日々多くを学びながら、患者さんに安心していただける医療を提供できるように努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



### 研修医 安田 脩馬

京都府出身、滋賀医科大学を卒業しました。今年から市立長浜病院で初期研修医として勤務いたします。学生時代から慣れ親しんだ滋賀の地で、医師としての第一歩を踏み出せることを嬉しく思います。冬の伊吹山や雪景色、広大な琵琶湖といった長浜の豊かな自然が大好きです。患者さんに寄り添う「優しい」医療を志し、地域に貢献できるよう精一杯努めます。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



### 研修医 井上 海

この春から市立長浜病院で研修させていただいております井上海と申します。長浜を訪れるのは初めてでしたが、市の花である梅の花に春の訪れを感じました。2ヶ月が経過した今、まだまだ未熟ですが、医師として、そして社会人として、恥じない姿を目指し、連続テレビ小説で放送された『梅ちゃん先生』のように地域に寄り添える医師になれるよう成長していきたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。



## 医師の異動（5月）

- 着任（令和8年5月16日付） 麻酔科部長 水野 隆芳
- 退職（令和8年5月15日付） 麻酔科医長 河野 匡暁

## 看護局長 就任のご挨拶

### 看護局長 中村 寛子

このたび看護局長を拝命いたしました中村寛子と申します。地域の皆様には、日頃より当院の看護活動に温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

日本は2040年に向けて、これまでにないスピードで高齢化が進み、医療・介護・生活支援が一体となった地域づくりが求められています。こうした変化の中で、当院看護局は『人中心の医療』を発展させるために、「つながる看護」の強化、「自分らしい暮らし」を支える看護を目指します。

今年度は、これらの方向性を踏まえ、患者の医療・暮らしを面で支える看護を目標に掲げています。病院という“点”での関わりにとどまらず、患者さんの生活全体を“面”として捉え、退院後のくらしや地域での支援を視野に入れた看護を実践していきます。地域の皆様とつながりあってこそ実践できる看護であり、共に支え合う地域づくりの一翼を担いたいと考えています。

地域の皆様とともに、安心して暮らせるまちづくりに貢献できるように努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 事務局長 就任のご挨拶

### 事務局長 村崎 晴美

このたび事務局長を拝命いたしました村崎晴美と申します。医療は人々の命と健康を守る尊い仕事であり、その運営を支える事務局に携わることができ、大きな使命と責任を感じております。当院は理念として「地域住民の健康を守るため、『人中心の医療』を発展させ、地域完結型の医療を推進します」を掲げています。患者さん一人ひとりが安心して医療を受けられるよう、また、地域の皆様に信頼いただける医療環境を整えることができるよう尽力してまいります。今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



## WEB 予約システムについての Q&A ～診療情報提供書編～

- Q1 「メディグル予約」のシステムで診療情報提供書をアップロードすることができますか？
- A1 「メディグル予約ご利用ガイド」には、本システムへの診療情報提供書のアップロードに関する記載がありますが、当院は利用しておりません。予約取得の翌日までに FAX で送信していただきますようお願いいたします。診療情報提供書原本は患者さんにお渡しください。
- Q2 「メディグル予約」のシステムで診療情報提供書を作成することができますか？
- A2 「メディグル予約ご利用ガイド」には、本システム上での診療情報提供書作成に関する記載がありますが、当院は利用しておりません。従来どおりの方法で作成していただきますようお願いいたします。